

「とよた」で
だれかとつくる、つながる
まだ
対話と共創の場

名もなきトークイベント



つながるってオモシロイ？

2023.3.17(金) 18:00~19:40 (17:30 受付開始) Yスタジオ (T-FACE A館6階)

「何かやりたいけど、何から始めよう?」「自分で何かはじめるのは難しそうだけど楽しいことしたいなあ。」誰かの何かのきっかけを、まずは話すことから、つながることからつくれるかもしれない。そんなきっかけになるようなトークイベントを開催します!まだ名もなきトークイベント。まずはゲストの話聞くことから、後半は話したい、やりたいを話していただいてもOK。ちょっとでも気になった方はぜひご一緒しましょう!

ファシリテーター



NPO法人セブン・ジェネレーションズ
代表
野崎安澄さん

今回のゲストスピーカー



mass×mass
クリエイティブディレクター
森川正信さん



名城大学社会連携センター
社会連携アドバイザー
宮原知沙さん



愛知淑徳大学ccc
学生団体「そとそと」代表
近藤南帆さん

🔥プログラム

17:30 受付開始
18:00 オープニング
18:05 ゲストスピーカーTALK
(15mins×3)
19:10 グループトーク
19:40 クロージング
名刺交換等・自由交流
20:00 おつかれさまでした!

定員

30名

参加費
無料

途中
入場可

🔥お申込

QRコードを読み取るか、とよた市民活動センターのホームページに掲載の申し込みフォームより、必要事項をご記入の上お申し込みください。

※申込締切: 3月14日(火)



ゲストのご紹介

ファシリテーター



NPO法人セブン・ジェネレーションズ
代表
野崎安澄さん

NPO法人セブン・ジェネレーションズ代表/愛知アーバンパーマカルチャー発起人/ワークショップファシリテーター/コミュニティオーガナイザー

新卒後リクルートマネジメントソリューションズに入社し、人事制度設計・研修・採用コンサルティング等の営業を担当。東日本大震災をきっかけとして、子供達に豊かな自然と地球を残し、1人1人があるがままにイキイキと生きられる社会を実現するための活動を始める。

2019年よりNPO法人セブン・ジェネレーションズ代表となり、SDGsに取り組み市民力を高めるワークショップ・研修等のプログラム・オンラインコース・イベントの企画運営、設計、ファシリテートを行う。愛知県内では「トヨタプロボノシナジープロジェクト」やユースとのまちづくり提案事業のプログラマー、『岡崎スコシズツ・マーケット』『愛知アーバンパーマカルチャー』の起ちあげなど。

今回のゲストスピーカー



mass×mass
クリエイティブディレクター
森川正信さん

mass×mass クリエイティブディレクター | マスマススクエア株式会社 代表

1976年横浜生まれ。地域に根ざしたプロジェクトやプロダクトのディレクションを行いながら、デザインや映像制作、クリエイティブ全般を行なっている。横浜のコワーキングスペース&シェアオフィス「マスマス関内フューチャーセンター」の運営代表/クリエイティブディレクター。間伐材プロジェクト「山北プロジェクト」、横浜帆布靴とのコラボアイテム「Tsuchibag」の企画、大田区蒲田で城南信用金庫のシェアオフィス・創業支援施設「J-Create+」ブランディング、静岡県沼津市の沼津信用金庫の「ぬましんCOMPASS」2F、コワーキングスペース&シェアオフィス「TENTOぬまづ」プロデュース、運営サポート。マスマススクエア株式会社 代表/LIFT45 /一般社団法人ローカルワーク・アソシエーション 理事



名城大学社会連携センター
社会連携アドバイザー
宮原知沙さん

名城大学社会連携センター社会連携アドバイザー/ナゴヤ100人カイギキュレーター/ NAGOYACONNECT Program Lead (Diversity)

大学で建築を学ぶ。大学周辺のまちづくりに関わる中で、自分が暮らすまちのことを自分たちで考えるまちづくりに興味を持ち、行政系コンサルタント会社に就職。地方創生の流れの中で「若者をつなごう地域」と「若者」にズレがあることや、セクターを超えた取組の必要性を感じ、名城大学社会連携センターの設立と同時にコーディネーターとして着任。2022年4月からフリーランス。学生と共にアントレプレナーシップを学ぶ中で、自分を見つめ直し中。現在、“自分を開発する”を体感するためボイトレにチャレンジしている。



愛知淑徳大学CCC
学生団体「そとそと」代表
近藤南帆さん

愛知淑徳大学CCC学生団体「そとそと」代表

そとそとは豊田市の魅力を発信している学生団体。現在、愛知淑徳大学の学生が23名所属し、その内の約9割は豊田市外出身。「令和3年度 学生によるまちづくり提案支援事業」に参加したことをきっかけに、現在も豊田市で活動を行う。

主な活動内容は、豊田市に訪れて感じた魅力を、パンフレットやInstagramなどを通しての発信。それに加え、今年度はジビエの活用方法を考えるイベントも開催する。ジビエに着目したきっかけは、豊田市足助地区の方に取材を行っていた時、農作物の鳥獣被害や捕獲鳥獣の9割が廃棄されている現状を知り、問題意識を持ったことに由来する。今後も、そとそとでは豊田市を中心に活動を行い、魅力を発信しながら、地域が抱えている課題の解決に挑戦していきたい。

